

かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医を持ちましょう ～ 新しいがん医療のかたち ～ 講演会 開催報告

1. 日時：平成26年1月11日（土）13：00～16：00
2. 場所：沖縄県薬剤師会館
3. 対象：がん患者さん・がん患者さんのご家族・がん患者さんのご遺族・医療関係者など、関心のある方ならどなたでも
4. 内容：地域住民の皆さまを対象に、「かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医で直す ～新しいがん医療のかたち講演会～」と題して、患者さんの地域のかかりつけ医とがん治療を行う病院の専門医が、患者さんの治療経過を共有する「がん地域連携クリティカルパス」の講演会であり、今回、がん経験者である三好綾さん（NPO法人がんサポートかごしま理事長、元厚生労働省がん対策推進協議会患者委員）にご講演頂き、その後にパネルディスカッションを行い、「新しい医療のかたち」について話し合った。
5. 参加者数：27名



中部病院 松本院長による開会挨拶



三好綾さん(NPO法人がんサポートかごしま理事長)による「がん患者が望むがん治療」の講演



増田先生による「かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医で直す 新しいがん医療のかたち」の講演



パネルディスカッション

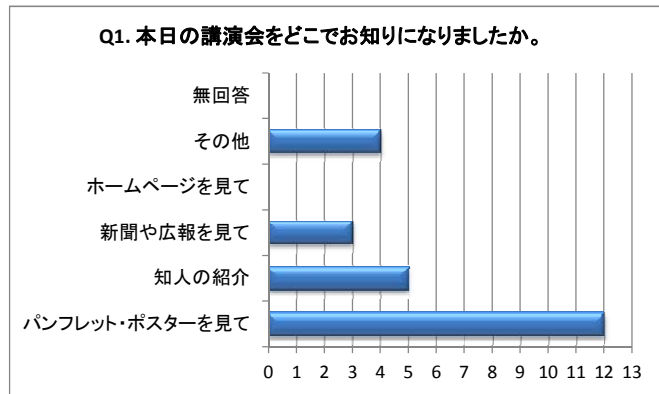
パネリスト：三好さん、松本院長（中部病院）、佐村先生（琉大）、前原さん（よりよい地域医療を応援する会）、増田先生

かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医を持ちましょう
 ～新しいがん医療のかたち～講演会 アンケート結果

アンケート回答者数 23 名

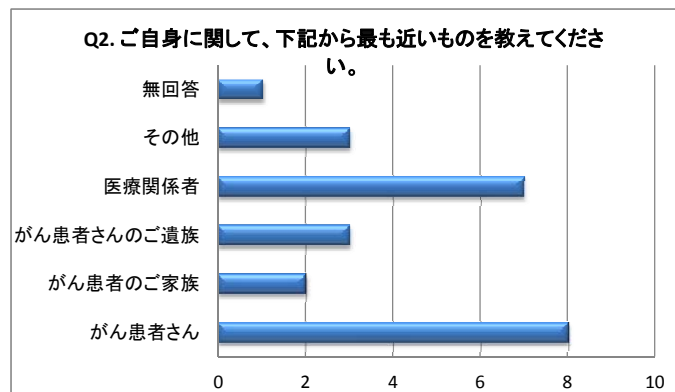
Q1. 本日の講演会をどこでお知りになりましたか。(複数回答)

パンフレット・ポスターを見て	12
知人の紹介	5
新聞や広報を見て	3
ホームページを見て	0
その他	4
無回答	0



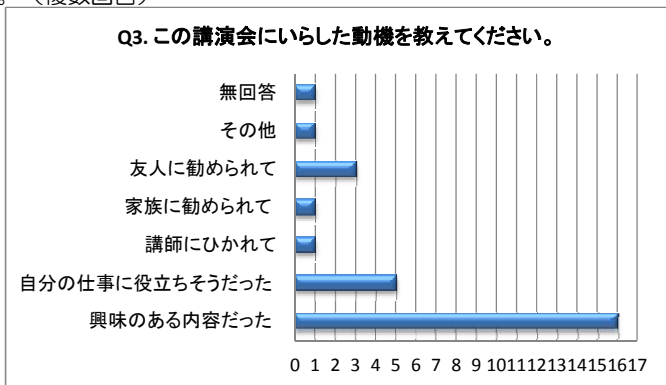
Q2. ご自身に関して、下記から最も近いものを教えてください。(複数回答)

がん患者さん	8
がん患者のご家族	2
がん患者さんのご遺族	3
医療関係者	7
その他	3
無回答	1



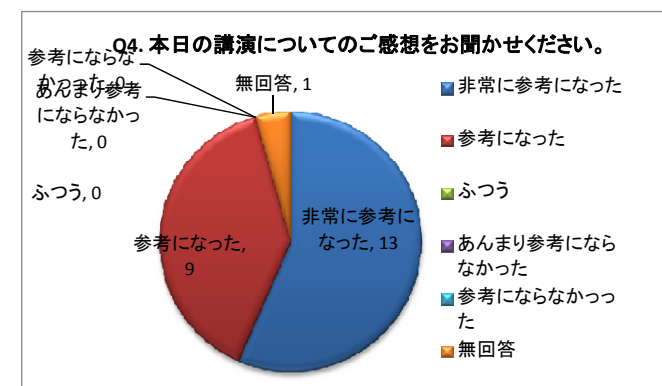
Q3. この講演会にいらした動機を教えてください。(複数回答)

興味のある内容だった	16
自分の仕事に役立ちそうだった	5
講師にひかれて	1
家族に勧められて	1
友人に勧められて	3
その他	1
無回答	1



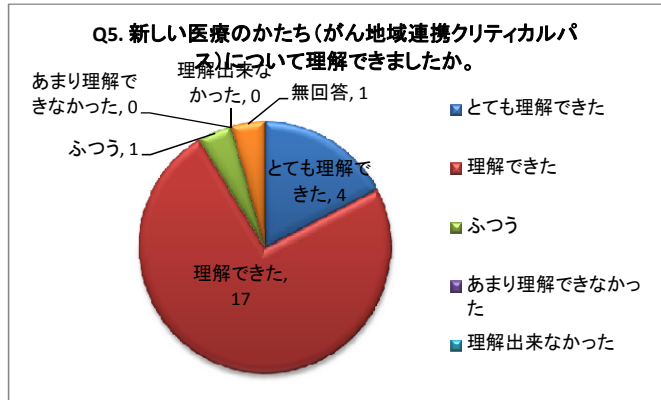
Q4. 本日の講演についてのご感想をお聞かせください。

非常に参考になった	13
参考になった	9
ふつう	0
あんまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	1



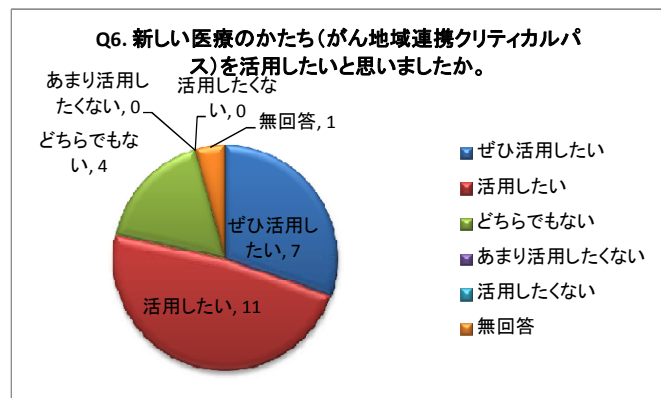
Q5. 新しい医療のかたち（がん地域連携クリティカルパス）について理解できましたか。

とても理解できた	4
理解できた	17
ふつう	1
あまり理解できなかった	0
理解出来なかった	0
無回答	1



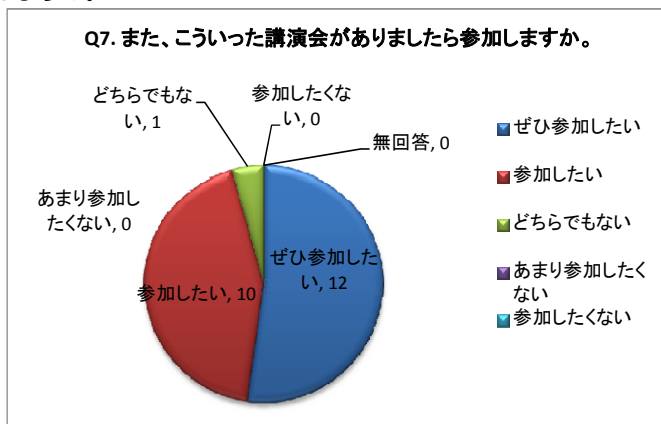
Q6. 新しい医療のかたち（がん地域連携クリティカルパス）を活用したいと思われましたか。

ぜひ活用したい	7
活用したい	11
どちらでもない	4
あまり活用したくない	0
活用したくない	0
無回答	1



Q7. また、こういった講演会がありましたら参加しますか。

ぜひ参加したい	12
参加したい	10
どちらでもない	1
あまり参加したくない	0
参加したくない	0
無回答	0



Q1. 『本日の講演会をどこでお知りになりましたか。』のその他のご意見

- ・患者会にチラシがあった。
- ・病院で
- ・今後、患う可能性に備えて。71才です。
- ・がんセンターからパンフレットが届けられた。

Q3. 『この講演会にいらした動機を教えてください。』のその他のご意見

- ・友達が昨年がんで（50代）亡くなったので。もう一人は琉大附属と東京、京都の病院で現在治療中（血管や）

Q7. 『また、こういった講演会がありましたら参加しますか。』のその他のご意見

- ・親戚は離島に住んでいます。近親者や友人等ががんになった時に是非話したい。（もあいの場でも）今回はありがとうございました。
- ・パスのある事を県民に知らせて欲しい。私自信初めて知りました。
- ・三好さんのレジュメがあればよかったと思います。今日はいい勉強になりました。ありがとうございました。

主催 沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会
共催 特定非営利活動法人よりよい地域医療を応援する会

かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医を持ちましょう ～新しいがん医療のかたち～講演会

がん地域連携クリティカルパス(治療計画書)をご存知でしょうか?

あなたと、あなたの住む地域のかかりつけ医と、がん治療を行う病院の専門医が、あなたの治療経過を共有するためのものです。これを利用して、あなたの治療を続けます。

術後の状態が安定しているときの日常の診療はかかりつけ医が受け持ち、専門的な治療や定期的な検査は病院で行うという『新しいがん医療のかたち』です。

今回、がん経験者である三好綾さん(NPO法人がんサポートかごしま理事長)にご講演頂き、その後に医療者を交えたパネルディスカッションを行い、皆様と共に『新しい医療のかたち』について一緒に考えていきたいと思います。



三好 綾(みよあや)さん
(NPO法人がんサポートかごしま理事長)

27歳の時に乳がんが見つかり手術を受け、患者会活動やピンクリボン運動を始める。
著書「乳がんなんてやっつけろ！」。

現在「がん患者サロン」で週に2日、がん相談を担当。
がん患者とその家族らを応援するイベント「つなげよう!命のリレー」を鹿児島市で開催。

入場無料
(申込不要)



日時:2014年 1 月 11日(土)

時間:13:00~16:00 開場:12:00

場所:沖縄県薬剤師会館

対象

- ・がん患者さん
- ・がん患者さんのご家族
- ・がん患者さんのご遺族
- ・医療関係者など、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ先:

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事務局
(琉球大学医学部附属病院がんセンター内) 担当:仲本・呉屋
TEL :098-895-1369 FAX :098-895-1497

◆ プログラム ◆

- 12:00~ 開 場
- 13:00~ 開会のあいさつ
松本 廣嗣先生(沖縄県立中部病院 院長)
- 13:05~ テーマ「がん患者が望むがん治療」
三好 綾さん(NPO法人がんサポートかごしま理事長)
- 14:05~ 質疑応答
- 14:15~ 休憩
- 14:30~ かかりつけ医とがん専門医の2人の主治医を持ちましょう
～新しいがん医療のかたち～
増田 昌人(琉球大学医学部附属病院がんセンター長・診療教授)
- 14:50~ 質疑応答
- 15:00~ 休憩 アンケート回収
- 15:10~ パネルディスカッション
パネリスト:三好 綾さん
前原 克章さん(NPO法人よりよい地域医療を応援する会)
佐村 博範(琉球大学医学部附属病院第一外科 助教)
増田 昌人
- 15:50~ 閉会のあいさつ
増田 昌人

◆ 開催会場 ◆

社団法人沖縄県薬剤師会館(沖縄県医師会館隣り)
〒901-1105
沖縄県島尻郡南風原町字新川1218-10
Tel.098-963-8930
Fax.098-963-8932



お問い合わせ先:

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事務局(琉球大学医学部附属病院がんセンター内)
担当:仲本・呉屋 TEL :098-895-1369 FAX :098-895-1497

沖縄タイムス 第23327号
2014年 1月14日(火) 29面

がん治療に 自分らしさを

三好綾さん

南風原 経験者の三好さん講演

南風原町の県薬剤師会館で11日、鹿児島県のNPO法人がんサポートかごしま理事長、三好綾さん38が「がん患者が望むがん治療」と題し講演した。三好さんは自らのがん体験をもとに「いつでも自分らしく生きることが出来るサポートを」と話した。医療関係者やがん患者が約30人が参加した。

三好さんは約40歳で乳がんを告知され、手術や抗がん剤治療を経験。当時の主治医にかけられた「残念ながら悪いものでした」という言葉に不安になったことを振り返り、「治療中、患者の気持ちは常に揺れ動く。そこも含めて治療してほしい」と語った。

三好さんはがん患者を支援するがんサポートかごしまの活動も紹介。35歳以下でがんになった人を対象にした「若首患者会(若首)」を立ち上げ、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を使い、県内外の患者同士が交流していることも明らかにした。

さらに、沖縄を念頭に、離島におけるサポートの課題として、患者が治療のために家族と離れるストレスや、医師が少なく転勤を伴うため、患者と医師のコミュニケーションがとりにくいことも指摘した。

講演の最後には2012年に胃がんのため60歳で亡くなった鹿児島県男性が生前に残した「かけがえのないあなたらしい人生を楽しんでね」と書かれた手紙を紹介。がん患者が見放されたと感じない支援体制をつくることや地域連携を強くすることを求めた。

講演は、県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会が主催した。